

公益財団法人 新教育者連盟

令和4年度(令和4年7月～5年6月)事業計画(運動方針及び行事開催日程)

令和4年5月14日

新教育者連盟は、「生命の教育」創始者谷口雅春先生の「生命の實相」哲学の偉大さと、数多の協力者・支援者・組織役員・会員各位の日夜を分かたぬ献身的なご活躍・ご尽力により、令和4年度(2022年度)は、『生命の教育』誌発刊88年、新教育者連盟創立70年、公益財団法人認定10年の節目の年を迎えます。時恰も『生命の實相』発刊90周年の記念すべき年でもあります。

その間、幾多の曲折がありましたが、当連盟の第一線組織も、逐次軌道に乗ってまいりました。公益目的の実現のため、令和4年度はさらなる発展を目指して、下記の事業計画(運動方針)に基づき活動することと致します。

I スローガン

- 1、偉大な建国の理想を胸に、日本人としての誇りを伝える。
- 2、各家庭で善き父母となり、「生命の教育(七つの心得)」を日々実践する。
- 3、一灯照隅、万灯照国の精神で、「生命の教育」をより深く学び実践・普及する仲間を増やす。もって、国家社会の将来を担う堅実にして有為な児童及び青少年の健全な育成に寄与する。

II 年間を通じた活動(運動)の骨格

- 1、「生命の教育」の実践・普及活動の一層の展開と推進
 - (1) 家庭教育及び社会教育において「生命の教育」を実践し普及する為、母親教室(お母さん教室)・生命学園(子ども寺子屋)・座談会・学習会・講演会等を一層活発に開催するとともに、家庭教育相談を実施する。
 - (2) 「生命の教育」実践・普及者の拡大及び支部の増設に努める。
 - イ、講師は総ての会合において『生命の教育』誌、または『生命の子供』誌をテキストとして使用し、新教育者連盟活動の素晴らしさと活動の喜びを伝える。
 - ロ、支部未設置の府県には、隣接の支部等の協力を得つつその設立をはかる。本部は担当理事を設けるなどして新支部設立に努める。
 - ハ、各都道府県に既設の支部がある場合も、支部の複数化を目指す。そのため、勉強会・学習会・母親教室等の会場を計画的に増やすなどして会員の拡大と幹部の育成をはかる。
 - ニ、常に、講師及び主催者が行事参加者一人一人に感謝と讃嘆を徹底すると共に、参加者の希望や意見を受け止め、運営に反映する。
 - ホ、「生命の教育」運動に熱意を持った人、および有能と思われる人を積極的に役員

や諸担当に登用するなどして、常時人材の育成をはかる。

へ、次代を担う人材を日常的に育成するため、子供の個性を伸張させ、子供の無限力を引き出す、子供寺子屋(生命学園)の増設を目指す。この教材等として、新たな新教連古事記神話紙芝居もシリーズで制作する。

(3) 情報通信技術(ICT)を活用した運動の推進

時代の変遷・進化は目まぐるしく、新教育者連盟活動も主として子育ての問題を重点テーマとしている以上、若い世代への働きかけが何よりも重要であることはいうまでもない。

時代の先端をゆく情報通信技術を活用して運動を構築し、力強く展開して、若い世代に「生命の教育」を普及するとともに、あらたな人材に登用し活用をしていくことが喫緊の課題となっている。

このため、今年度新たに各支部からの協力を受けつつ、理事長の諮問機関としてのプロジェクトチームをつくり、定款や規約の改正も含めた検討を行う。

各支部においても、若い世代の人材の活用、とりわけ情報通信技術に熟達した人材の発掘と活用に鋭意努めていく。

2 『生命の教育』誌・『生命の子供』誌の内容の充実と愛読者の拡大並びに教材の刊行

(1) 『生命の教育』誌・『生命の子供』誌の内容の充実を目指す。

イ 誌面の充実をはかるため、年に数回程度、本誌にアンケート用紙を入れ、広く愛読者の声を聴く。

ロ 各支部に選抜されている「通信員」制度を活用して、体験談ほか各種の話題やニュースの収集に努める。

ハ あらゆる分野の「書き手」を増やすための努力を続ける。

(2) 購読者・愛読者の拡大を目指す。

イ 普及宣伝のために事務局で確保している『生命の教育』誌をポスティングするなどして、『生命の教育』誌の存在を広く知らせる。今年度は、一支部100冊程度を配布の目途とする。

ロ 希望の月号があれば、あらかじめ事務局に申し出ることとする。

ハ 上記を実施する際、月号の印刷部分に、謹呈のシールを貼る。謹呈シールは本部から支部に提供する。

(3) 刊行物の充実を目指す。

イ 教材となる刊行物の充実を目指す。

3 「教育アドバイザー」と「子育てサポーター」の養成と活動

- (1) 公益財団法人として、組織外の学校・幼稚園・PTA・企業・各種団体等々に出講・指導し得る指導者・講師の育成を心掛け、積極的に派遣するよう努める。
- (2) 新教連教育アドバイザー(以下、アドバイザーという)は、所属支部が行う教育講演、教育相談、子供寺子屋等の企画、運営、推進、指導等に積極的に参画する。
- (3) 支部長はじめ支部役員は、アドバイザー及び新教連子育てサポーター(以下、サポーターという)の養成と活動を支援する。
- (4) アドバイザー及びサポーターの活動を一層活性化するとともに、互いの実力向上を目指して、支部内において研修の場を設ける。
また今年度は、現任の新教連教育アドバイザー全員を対象として、「新教連教育アドバイザー研修講座(仮称)」を行い、一層の実力向上に努める。
- (5) アドバイザー及びサポーターの活動をさらに充実・発展させるため、各養成課程の受講を推進する。

4 全国研修会の開催

「創立70周年記念新教育者連盟全国研修会」を開催する。

(令和5年6月17日[土]・18日[日])

5 その他

引き続き「お父さんお母さんありがとう」作文募集に取り組む。

III 財政基盤の拡充

対外的にも活動の規模を拡大し、画期的な活動を展開し、幸せな家庭と子供を増やす活動の進展のため、本部・支部挙げて以下の事項に着実に取り組む。

「生命の教育献資」(以下、献資という)についての情報を周知し、啓蒙する。このため、一年に一回程度「献資」申込書を、行事参加者に配布し、積徳の素晴らしさや、税制優遇の制度、新教連活動の夢、喜びの体験等を語るようにする。

「献資」協賛者の祝福祈願祭を毎月(11月のみ神戸市の本住吉神社で実施)本部で斎行していることを周知する。

誌面広告、名刺広告等の意義を伝え、協賛者を増やすことに努める。

寄付金の募集を、ホームページ等にて積極的によびかける。

IV 令和4年度主要行事日程

- イ、理事会 令和4年 8月27日(土) 令和3年度決算
令和4年 11月23日(祭) 於、本住吉神社
令和5年 2月18日(土) 事業計画(運動方針)大綱、行事予定決定
令和5年 5月13日(土) 事業計画(運動方針)決定
令和5年 6月18日(日) 予算決定
(令和5年度行事) 令和5年 8月26日(土) 令和4年度決算
- ロ、評議員会 令和4年 9月23日(金、祝) 決算
(令和5年度行事) 令和5年 9月23日(土、祝) 決算
- ハ、支部長会 令和5年 6月17日(土)
- ニ、祝福祈願祭 令和4年 7月22日(金) 8月22日(月) 9月22日(木)
10月22日(土) 11月23日(水祭)又は27日(日)
12月22日(木)
令和5年 1月22日(日) 2月17日(金) 3月22日(水)
4月21日(金) 5月22日(月) 6月22日(木)
- ホ、研修会(含支部長会) 令和5年 6月17日(土) ~ 6月18日(日)

以 上